



受賞おめでとうございます

北海道社会貢献賞（交通安全功労者）

2月1日(月) ホテルポールスター札幌において、平成21年度 北海道社会貢献賞（交通安全功労者）3名、北海道善行賞（交通安全実践者）10名の方の表彰式行われ、白石区より、菊水北連合町内会会長の高橋直利氏が北海道社会貢献賞(交通安全功労者)を受賞されました。氏は、平成元年より交通安全指導員を務められ、多年にわたり交通安全組織の育成指導に取り組むと同時に、自ら実践活動を行い、各団体や幼児・小中学校・お年寄りの交通指導、後輩の育成、等の交通安全事故防止を推進されました。現在も交通安全指導員として交通安全運動にかかわり、功績が顕著であることが認められましたので、今回の受賞となりました。尚、北海道社会貢献賞の3名は、高橋はるみ北海道知事より一人ずつ表彰状を授与、最後に表彰者全員を代表して、高橋氏が感謝の言葉を述べられました。



「菊水地区まちづくりネットワーク会議」の活動を写真で振り返る

「菊水地区まちづくりネットワーク会議」では、お年寄りや子ども達が安全で安心に暮らせる、“住み良いまちづくり目指”し、地域ネットワークによる活動を進めて参りました。今後も引き続き地域の皆様の、ご支援、ご協力をお願い致します。



広報紙「菊まちネット」

【総務・企画部】

- ・ 広報紙（菊まちネット）の発行。
- ・ 菊水地区ホームページの開設。



菊水地区ホームページ



夜間防犯パトロール

【安全・安心部】

- ・ 青色回転灯パトロールの実施。
- ・ 夜間防犯パトロールの実施。
- ・ 地域が一体と成った安全安心の取組。



青色回転灯パトロール



菊水地区「雪中運動会」

【福祉部】

- ・ お年寄りと子どもの交流会。（流行性感冒予防の為今年度中止）
- ・ 子育てサロンの開催。
- ・ 菊水地区「雪中運動会」の開催。



子育てサロンにて「ママさんバンド」



写真コンテスト

【環境・文化部】

- ・ 菊水地区写真コンテストの開催。
- ・ ステンドグラス、パッチワークの展示。



パッチワーク展示



ステンドグラス展示



パソコン勉強会

【情報部】

- ・ パソコン勉強会の開催。
- ・ パソコン教室の開催。



パソコン教室

第12回 菊水地区「雪中運動会」

2月6日(土) 午前10時～札幌市立幌東小学校グラウンドにおいて、第12回「菊水地区雪中運動会」が開催され、地域子ども達を中心に330人(子ども230人、大人100人)が参加し、楽しい一時を過ごしました。この「雪中運動会」は、「菊水地区青少年育成委員会」と「菊水地区まちづくりネットワーク会議」が共催で、同地区の小中学校の協力を頂き実施しているもので、幌東中学生徒会の皆さんが進行役となってゲームを楽しく盛り上げ、参加した子ども達も大喜び。ゲーム終了後は、イグルーの中で、ぶた汁や暖かいココアで満腹。「暖かいね…」「基地のようだね…」そんな会話が聞こえてきました。次年度当番校の上白石小学校PTA会長さんの、歓迎の挨拶後、終了となりました。そして、各学校の教頭先生と担当の先生が、「〇〇学校の生徒達はこちらに集合…」……子ども達を集め、学校まで引率して帰るとの事。聞けば、子供達の引率は学校側が自主的に考えてくれたそうです。子ども達と地域との、交流の場を、続けて行きたいですね。



第65回「くしろサッポロ氷雪国体」開始式挙行

2月25日(木) 13:00～札幌コンベンションセンターにおいて、第65回 国民体育大会 冬季大会『くしろサッポロ氷雪国体』開始式が執り行なわれました。競技日時は2月26日(金)～2月28日(日)までの3日間ですが、開始式の25日は、全国47都道府県選手、役員らが参加。簡素・効率化を掲げる国体改革の一環で、寒冷地に限られる冬季大会開催地の厳しい財政事情を考慮し、開会式は9月に千葉で開催する夏秋季の国体に一本化するとのこと。今回より、冬季大会は開始式のみとし、各都道府県の全選手団の入場行進は行われず、代表地区の紹介だけ行われました。北海道選手団は、大会役員13名、監督4名、選手68名、コーチ10名、総勢95名で大会に臨み、道民の皆さんに、感動を与えられるように頑張ります…とアピールしていました。歓迎アトラクションでは、陸上自衛隊北部方面音楽隊、HBC 少年少女合唱団、アイヌ・アート・プロジェクト、市立大通高等学校和太鼓・伝統芸能部、等々多数の出演があり開式通告までの約1時間素晴らしいパホームンスが展開されましたが、菊水地区からも、多数の方が見学しておられました。



高橋知事歓迎の挨拶



HBC 少年少女合唱団



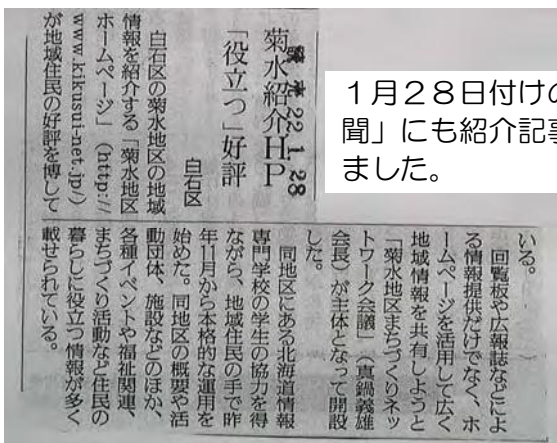
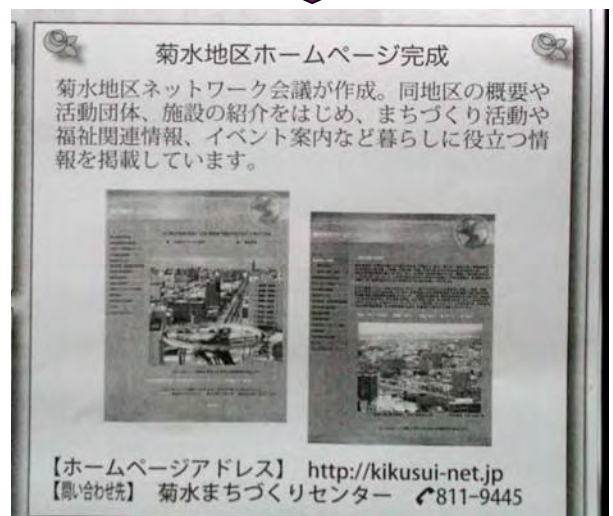
アイヌ・アート・プロジェクト

菊水地区ホームページ「広報さっぽろ」 「白石区役所ホームページ」「読売新聞」に紹介記事



左図は、菊水地区ホームページの1ページ目の画面です。写真(右側)の建物は、ホームページ製作で、協力して頂いた、北海道情報専門学校の校舎です。
アドレスは <http://kikusui-net.jp>

「広報さっぽろ」2月号の「しろいし区民のページ」に菊水地区ホームページが紹介されていました。尚、白石区役所ホームページ(地域からのニュース)でも紹介されています。



「菊水地区まちづくりネットワーク会議」ってなんですか？

札幌市では、平成 19 年 4 月に「自治基本条例」が施行されました。これは市民が主役になって「まちづくり」を進めるためのルールです。市民、議会、行政のそれぞれの役割や、仕組みが規定されています。「だれかがするだろう」「それは行政の仕事だ」と無関心でいるのではなく、ひとりでも多くの市民が参加し「自分達の地域は自ら考え、皆と一緒によりよくしていく」そして「行政と連携・協働しながら地域づくりをして行く」これが「住民自治」であり「菊水地区まちづくりネットワーク会議」です。地域のことは、地域に住む人が一番よく知っています。困っていることがあれば、まず自分達でやってみる、必要なら行政と協力して問題を解決して行く、これが「住民自治」です。

コ ラ ム

脚本家、倉本聡は東大文学部美術科を卒業。在学中から、既にプロとして活動していたようです。先日テレビの深夜番組で「マロース」と言う FM ラジオ番組の制作現場のドキュメントが放映されていました。氏は、一貫して、環境保護、自然破壊への警鐘、人間と自然との関わりやあり方を問いかけるものが多く、「北の国から」では、機械や文明に頼らない人間の力強さを描き、「花のガーデン」では、死に直面した、経験豊富で優秀な麻酔師が、勘当されていた家族のもとに帰って行く、そして「生きること」「死ぬこと」を描いた人間ドラマを 400 本の花を植えたガーデンの中で展開する。「マロース」では、2~3 羽の鴨の死骸を人間が鳥インフルエンザと勘違いし、鶏や鴨、白鳥を大量に処分してしまう……しかし、結局は 30 年前に化学薬品工場の農薬を廃棄したことが原因によるものだった。自然の怖さ、人間の浅はかさをここでも説いているようです。「富良野自然塾」も又、然り。
倉本聡の世界、倉本聡の哲学に、近頃少し興味を持つように成ってきた。

編集子